

## 原子炉格納容器 (PCV) 内部詳細調査技術の開発 (堆積物対策)

# 燃料デブリ取り出しに向けて PCV内部詳細情報を取得する (アクセスルート構築、水中遊泳型調査装置)

### 研究目標

- 2021年度中に1号機PCV内部詳細調査開始
- アクセスルート構築における干渉物対策(PCV内の重要配管を損傷させないよう干渉物の詳細位置把握と撤去作業)

### 背景・課題

- 1号機の燃料デブリ取り出しに向けた、より詳細な広範囲の情報の取得
- アクセスルート構築において、PCV内の重要配管と干渉することが判明したことによる計画見直し

### 研究概要

#### ① PCV内部へのアクセスルート構築における干渉物対策 (図1, 2参照)

- 新規調査装置により、PCV内干渉物の位置を詳細に調査

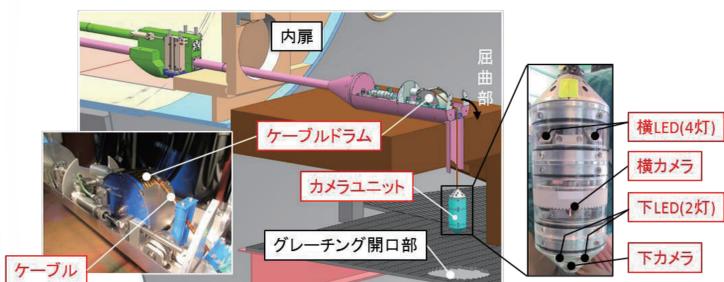


図1. 新規調査装置による干渉物詳細調査

- 調査結果に基づき、ROV挿入ルート(干渉物撤去対象)を立案。撤去作業を実施中

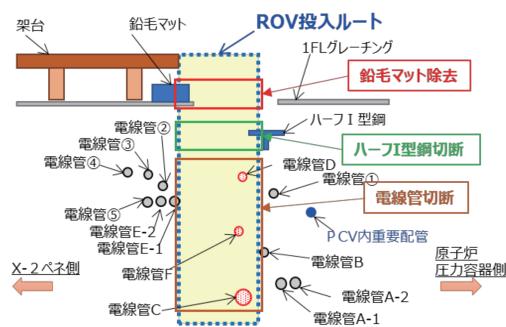


図2. ROV挿入ルートと干渉物撤去対象

#### ② PCV内部の詳細調査 (図3参照)

- 水中遊泳型アクセス装置 (ROV) を用いて、1号機PCV内部詳細調査に向けた作業訓練を継続実施中
- 現場実証の詳細計画を立案



図3. ROVを用いた作業訓練の様子

### 評価・結果

- 新規調査装置による干渉物詳細調査、ROV挿入ルート計画を立案し、PCV内重要配管を損傷させず、干渉物撤去の見通しを得た。
- アクセスルート構築後のPCV内部の詳細調査について、現場実証の準備を継続中

### 今後の計画

- アクセスルート構築における干渉物撤去作業、ガイドパイプ (ROVをPCV外から内部へ挿入する為のパイプ) の設置
- 1号機PCV内部の詳細調査